

英語科学習指導案

I 単元 Treasure Hunting～宝探しをしよう～

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力・人間性等

他者に伝わるように、主体的に英語を用いて物の位置を伝えたり道案内をしたりしよ
うとする態度

①知識・技能

物の位置を伝えたり道案内をしたりする際に
用いる英語の音声や文字、英語表現、文構
造、言語の働きについての知識
物の位置を伝えたり道案内をしたりする際に
活用できる基礎的な技能

②思考力・判断力・表現力等

英語表現を選んだり組み合わせたりし、英語
を用いて物の位置を伝えたり道案内をしたり
する力

(2) 言語事項 ※指導と評価の計画参照

(3) 単元の価値

本単元は、"Where is the treasure?", "It's under the～."や"Go straight.Turn right at the
～ corner."等の英語表現を用いて物の位置を伝えたり道案内をしたりし、それらを手がかりに宝の
ある場所を探す学習である。その価値は以下のとおりである。

本単元で扱う"Where is the ～?", "It's under the～."や"Go straight.Turn right at the
～ corner."等は、物の位置や建物の場所を尋ねたり答えたりする際に用いる英語表現である。
これらの英語表現を用いることで、自分の持ち物の位置を伝えたり道が分からない人に道案内を
したりすることができるようになる。

宝探しは、子どもたちに人気のある遊びであり、主体的に英語を用いてコミュニケーションを
図ることにつながる。宝探しをするという目的を設定することは、宝を隠した人にとっては宝の
ある場所の手がかりを与えられるように、正確に物の位置を伝えたり道案内をしたりする必要感
が生まれる。また、宝を探す人にとっては宝のある場所を見付けられるように、それらを正確に
聞き取る必要感が生まれる。さらに、うまく宝のある場所に案内できなかつた際には、繰り返し
たり、ゆっくり伝えたりする等、相手意識をもってコミュニケーションを図ることにつながる。

宝の場所を自分で決めることは、自分の隠した宝の場所に合わせて、教室にある物や位置を表
す前置詞、方向や曲がる場所を指示する英語表現を選んだり組み合わせたりして伝えることが
できる。また、より多くの宝を見付けられるように、相手を替えて繰り返しコミュニケーションを
図ることで英語表現を定着させることができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、6年「I like my town.」において、「We have～.」や「I want ～.」等の英語表現を用いて、前橋市にある魅力的な建物や将来できて欲しい建物を伝え合う学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、5年「海外旅行のプランをつくろう」において、「Where do you want to go?」や「I want to go to～.」等の英語表現を用いて、行きたい海外の国についてインタビューし合うことで情報を集め、海外旅行のプランを作って紹介する学習をしてきた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① 国名を表す英語の音声、行きたい場所やそこでしたいことを伝える英語の文構造を理解してきている。このような子どもたちが、教室にある物や建物を表す英語の音声、物の位置を伝えたり道案内をしたりする英語の文構造を理解することができるように、クレイジーマンキーゲームやサイモンセズゲームをして繰り返し英語の音声を聞いたり発音したりする活動を設定する。
- ② 「I want to go to～.」や「I want to eat～.」等の英語表現を選んだり組み合わせたりして行きたい場所やそこでしたいことを伝えることができるようになってきている。このような子どもたちが、「It's under the～. Go straight. Turn right at the ～ corner.」等の英語表現を選んだり組み合わせたりして物の位置や建物の場所を伝えることができるように、相手を替えて繰り返しコミュニケーションを図る活動を設定する。
- ③ 相手の理解に合わせて話す速さを調節したり繰り返したりして主体的に英語で自分の行きたい海外旅行のプランを紹介しようとするようになってきている。このような子どもたちが、相手の理解に合わせて話す速さを調節したり繰り返したりして主体的に英語を用いて物の位置や建物の場所を伝えようとすることができるように、行動目標を明確にしためあてや視点を基に自らの表現の成果と課題をTryシートに記述する機会を毎時間設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 宝探しゲームで物の位置を伝える「It's～the～.」の英語表現を用いて相手を替えて伝えることを繰り返し行うことを通して、位置を表す前置詞と教室の中にある物の英語表現を選んだり組み合わせたりして伝えることができる。
- 2 準備 電子黒板 Unit List 物の位置を表したイラスト 学習プリント リズムボックス
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・前の時間は、「black board」や「window」など教室の中にある物の英語が言えるようになったな。 ・今日は、宝の場所が友達にしっかりと伝えられるようになりたいな。 ・実際に今日は、宝探しをやってみるの	○前時に学習した教室にある物を表す英語表現を想起することができるように、電子黒板を用いて英語表現を提示し、発音するよう促す。 ○英語で宝の場所を伝えるという本時の見通しをもてるように、宝の場所を伝えるモデルをALTと提示し、聞き取れた内容を問いかける。 ○単元の学習における本時の目的を明確にもてるよう

だ。

2 物の位置を伝える英語表現を取り込む。

・「机の中にあります」と教えるときは、"It's in the desk."と言えよ。

・"It's on the wall. It's blue."と言っていた。壁にかかっている青い物は帽子だ。

3 物の位置を尋ねたり答えたりする。

・鉛筆削りの下に宝を隠そう。

・"Where is the treasure?"と聞かれたよ。"It's..."下だから..."under the pencil sharpener."だね。

・"Once more, please."と言われたよ。もう一度はっきりと伝えてみよう。

・今度は"OK."と言ってくれたよ。伝わったみたいだ。

・もっと他の人にも宝の場所を伝えて、自信をもって大きな声で言えるようになりたい。

・最初より友達の間を見ながら、宝の場所を伝えられるようになってきたよ。

4 本時のまとめをする。

・「鉛筆削りの下にある」や「筆箱の中にある」と宝の場所を友達の間を見ながら伝えられたし、友達に宝を見つけてもらえてうれしかった。

・次回は、宝の場所を書いて教えるのだ。楽しみだ。

に、Unit Listを確認するよう促す。

○物の位置を伝える英語表現を知ることができるように、物の位置を表したイラストと英語表現を提示し、ALTの後に続いて発音するよう促す。

○物の位置を伝える英語表現を繰り返し聞いて理解できるように、学習プリントを配布し、ALTが話す位置にある物を聞き取るよう伝える。

○英語のリズムで物の位置を伝えられるように、リズムボックスの音に合わせて発音するよう促す。

○相手を替えて繰り返し物の位置を伝えることができるように、学級全体で宝を隠して場所を伝える人と見付ける人に分かれ宝探しをする場を設定し、宝の場所を尋ねたり答えたりするよう伝える。

○物の位置を伝える自らの表現の改善点を明確にできるように、子ども同士のモデルを提示し、表現のよさについて問いかける。

○物の位置を伝える自らの表現に自信をもてるように、隠した宝の場所に合わせて英語表現を選んだり組み合わせたりして伝えている子どもを賞賛する。

評価項目

教室にある物と物の位置を表す英語表現を選んで宝の場所を伝えている。 <行動②>

○物の位置を伝えた際の友達やALTとのコミュニケーションを振り返ることができるように、めあてに対する「できるようになったことや分かったこと」を振り返りの視点として、Tryシートに成果と課題を記述するよう伝える。

○次時の活動への見通しをもてるように、次時の活動内容を問いかける。

指導と評価の計画

目標	宝の場所を尋ねたり答えたりすることを通して、英語表現を用いて物の位置を伝えたり道案内をしたりすることができる。		
評価規準	① 知識・技能)物の位置を表す英語表現や、道案内で場所を尋ねたり答えたりする英語表現を理解している。 ② 思考力・判断力・表現力等)物の位置を表す英語表現や、道案内で場所を尋ねたり答えたりする英語表現を選んだり組み合わせたりして伝えている。 ③ 学びに向かう力・人間性等)他者に伝わるように、物の位置を伝えたり道案内をしたりしようとしている。		
言語事項	Where is the treasure? It's (on/in/under/by)the (desk/chair/pencil sharpener/blackboard/wall/window/water tank/water bottle/book shelf/calligraphy shelf). Go straight for(one/two/three/four/five)block(s). Turn (right/left) at the (first/second/third/forth/fifth)corner. You can see it on your (right/left). Is it in the (station/fire station/police station/post office/supermarket/hospital/library/bookstore/gas station/department store/convenience store)?		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○JTEとALTが宝探しをする会話を聞いて必要な英語表現について話し合い問題をつかみ、教室にある物を表す英語表現を用いたキーワードゲームをする。 問題 英語で宝の場所を言えるようになって、宝探しを楽しもう	○コミュニケーションを図る場面や英語表現に対する見通しをもてるように、ALTが伝える宝の場所を聞いて、必要な英語表現から単元を通した問題と単元で伝え合えるようになる内容を表にしたUnitListを作る活動を設定する。
	1	○教室にある物を表す英語表現を用いた「教室にある物カルタ」や「クレイジーマンキーゲーム」をする。 ○教室にある物と物の位置を表す英語表現を用いて教室で宝探しをする。(本時)	○英語の音声で教室にある物を表す英語表現を発音することができるように、カルタのカードやクレイジーマンキーゲームのシートを用意する。 ○教室にある物と物の位置を表す英語表現を選んで宝の場所を伝えることができるように、相手を替えながら繰り返し宝探しをする場を設定する。
ふかめる	1	○宝の場所を英語でカードに書き、それを手がかりに教室で宝探しをする。	○宝の場所を示すカードを読んで宝を見付けることができるように、英語の音声と英語表現のつづりに対応させながら発音する場を設定する。
	1	○建物を表す英語表現を用いた神経衰弱と方向を指示する英語表現を用いたサイモンゼズゲームをする。	○英語の音声で建物を表す英語表現を発音することができるように、神経衰弱のカードを用意する。
	1	○方向を指示する英語表現を用いて宝探し道案内をする。	○方向を指示する英語表現を選んだり組み合わせたりして宝探し道案内をすることができるように、繰り返し相手を替えながらカードに描かれた場所に道案内をする場を設定する。
	1	○方向と曲がる場所を指示する英語表現を用いて宝探し道案内をする。	○方向と曲がる場所を指示する英語表現を選んだり組み合わせたりして宝探し道案内をすることができるように、繰り返し相手を替えながらカードに描かれた場所に道案内をする場を設定する。
	1	○建物に自分で宝を隠して宝探し道案内をする。	○英語を用いて物の位置を伝えたり道案内をしたりすることができた楽しさを実感することができるように、建物に自分で宝を隠して宝探し道案内をする場を設定する。
・ま生とかめする	1	○建物に自分で宝を隠して宝探し道案内をする。	○英語を用いて物の位置を伝えたり道案内をしたりすることができた楽しさを発言したり記述したりしている。 <発言・Tryシート③>